

P1 (見開き左側)

スケジュール表

(東京都体育協会で作成)



## 2(6) 宮城県登米市 & 東京都東大和市

- 1| 実施期日 平成24年8月17日(金)～19日(日)
- 2| 主管 東大和市体育協会
- 3| 協力 東大和市少年軟式野球連盟
- 4| 運営団体 東大和市少年軟式野球連盟
- 5| 会場 東大和市立第五小学校、中小企業大学校東京校 ほか
- 6| 日程表



8月17日(金)		8月18日(土)		8月19日(日)	
		7:00 起床	各ホームスタジアム	7:00 起床	各ホームスタジアム
		7:30 朝食	各ホームスタジアム	7:30 朝食	各ホームスタジアム
8:50 集合	登米市 【機織成夜組前】	8:30 会場到着	市立第五小学校		
9:00 バス乗車 (大型バスで移動)	登米市	9:00 交流試合 開始	市立第五小学校	9:00 講習会	市中央公民館
				10:00 会場を別室 (大型バスで移動)	市中央公民館
12:00 ナービスエリア にて休憩	安達本庄 SA 【福島県】	12:00 昼食	各ホームスタジアム ※自己負担(2023/24)→ ※自己負担は、初年度 中小企業大学校	12:00 ナービスエリア にて休憩	安達 SA 【埼玉県】
	昼食 バス内			昼食	バス内
		15:00 西武ドームへ移動	中小企業大学校 ※引当者		
15:15 ナービスエリア にて休憩	蓮田 SA 【埼玉県】			15:00 ナービスエリア にて休憩	安達本庄 SA 【福島県】
15:30 本文研修 準備開始	中小企業大学校				
16:30 総括研修 関係者集合	中小企業大学校				
17:00 登米市チーム 到着	中小企業大学校	17:00 プロ野球観戦	西武ドーム 西武 vs 東北楽天		
17:35 歓迎交流会	中小企業大学校	夕食		18:00 登米市 到着	登米市 【機織成夜組前】
18:30 ホームスタジアム へ移動	各ホームスタジアム				
19:00 入浴	各ホームスタジアム	お話し会終了後 移動			
21:00 就寝	各ホームスタジアム	21:00 就寝	各ホームスタジアム		

昨年のもの

P2 (見開き右側)

宮城県チーム (登米市)

引率者名

選手名

(東京都体育協会で作成)



▶宮城県チーム (登米市)

チーム名 錦小ホエールズ・米谷タイガース

引率者名

No	主たる役割	氏名
1	監督	加藤 武孝
2	監督	熊行 義光
3	コーチ	白石 恒也
4	コーチ	山中 聡
5	女性指導者	坂口 さとみ
6	スタッフ	及川 康子
7	スタッフ	山中 聡
8	スタッフ	幸野 充智子
9	スタッフ	高橋 孝史

No	主たる役割	氏名
10	スタッフ	高橋 陽子
11	スタッフ	阿部 広典
12	スタッフ	安部 空哉
13	スタッフ	津嶋 悠大
14	スタッフ	佐藤 結子
15	スタッフ	高橋 晋清
16	スタッフ	千葉 見二
※	連絡責任者	山中 聡

選手名

No	背番号	氏名	性別	学年	名前	性別	学年	年齢	所属チーム				
1	6	及川 大 喜	男	6	加藤 武孝	男	6	12	米谷タイガース				
2	10	山中 銀	男	6	11	錦小ホエールズ	9	4	及川 俊	男	5	10	錦小ホエールズ
3	1	幸野 紅 映	女	6	11	錦小ホエールズ	10	5	津嶋 悠 希	女	5	10	錦小ホエールズ
4	7	阿部 一 樹	男	6	12	米谷タイガース	11	11	津嶋 拓 也	男	5	11	米谷タイガース
5	8	安部 孝 彰	男	6	12	米谷タイガース	12	12	高橋 空 哉	男	5	11	米谷タイガース
6	9	田嶋 飛 翔	男	6	11	米谷タイガース	13	13	千葉 広 夢	男	3	10	米谷タイガース
7	2	熊行 義 典	男	6	11	米谷タイガース	14	14	高橋 弘 幸	男	4	10	錦小ホエールズ

昨年のもの

スポーツ少年団 東京都体育協会 東京都体育協会 東京都体育協会



P3 (見開き左側)

東京都チーム (東大和市)

引率者名

選手名

運営役員 (東大和市少年軟式野球連盟)

(東京都体育協会で作成)

### ▶東京都チーム (東大和市)

**チーム名** 東大和市選抜チーム

**引率者名**

No.	主たる役割	氏名
1	監督	小淵 匠哉
2	コーチ	陣田 茂男
※	連絡責任者	岩本 俊嗣

**選手名**

No.	背番号	氏名	性別	学年	所属	所属チーム
1	10	石川 聖哉	男	6	12	小学ワイ トマホーズ
2	1	金 龍哉	男	6	12	小学ワイ トマホーズ
3	4	高橋 大紀	男	5	11	小学ワイ トマホーズ
4	5	松村 隆之介	男	5	11	小学ワイ トマホーズ
5	10	内山 悠以希	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
6	1	木村 真斗	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
7	4	寺島 結衣	女	5	11	小学ソフト タマホーズ
8	10	栗原 健輔	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
9	1	日原 結包	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
10	10	深瀬 祥太	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
11	1	竹島 光輝	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
12	3	橋本 悠貴	男	6	11	小学ソフト タマホーズ
13	4	松本 京太郎	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
14	5	三井 真貴	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
15	9	松本 ひかり	女	5	11	小学ソフト タマホーズ
16	10	高橋 悠希	男	6	11	小学ソフト タマホーズ
17	3	田中 龍平	男	6	11	小学ソフト タマホーズ
18	4	山根 勇誠	男	4	9	小学ソフト タマホーズ
19	10	高橋 純太	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
20	1	岩本 拓哉	男	6	12	小学ソフト タマホーズ
21	10	亀田 隆	男	5	11	小学ソフト タマホーズ
22	10	立崎 悠貴	男	6	11	小学ソフト タマホーズ
23	1	高橋 隆史	男	6	11	小学ソフト タマホーズ
24	5	金井 茂也	男	6	11	小学ソフト タマホーズ
25	8	日原 拓	男	5	10	小学ソフト タマホーズ

**運営役員** 東大和市少年野球連盟

会長	川又 光昭	副会長	田村 茂
副会長	栗田 隆晴	理事長	佐多野晋次
副理事長	安久津俊敏	事務局長	岩本 俊嗣
会計	竹内 進	顧問	小幡 正敏
審判長	木島 弘志	理事	岩村 圭三
理事	小池 豊	理事	長井 和広
理事	岩本 明敏	理事	宮代 剛
理事	新倉 啓介	理事	谷田 謙裕

昨年のももの

P4 (見開き右側)

「1日目 その1 (2013/9/14)」

**出迎え** (東大和市 中小企業大学校東京校)



画像ファイル名 : 1-01 到着

▲ 8時間のバス移動で東大和市に到着

**歓迎会**



画像ファイル名 : 1-02 会場入場

▲ 登米市選手の入場



画像ファイル名 : 1-03 全員集合

▲ 全員で記念撮影

P5 (見開き左側)  
「1日目 その2 (2013/9/14)」

### 歓迎会



画像ファイル名：1-04 谷村実行委員長  
▲実行委員長あいさつ (谷村 実行委員長)



画像ファイル名：1-05 板垣部長  
▲記念品贈呈 (板垣 東京都スポーツ振興局部長)



画像ファイル名：1-06 尾崎市長  
▲歓迎のあいさつ (尾崎 東大和市長)



画像ファイル名：1-07 熊谷代表  
▲招待チームのあいさつ (登米市 熊谷チーム代表)

### 歓迎交流会



画像ファイル名：1-08 交流会 1  
▲登米産米をしっかりとPR



画像ファイル名：1-09 交流会 2  
▲すぐに仲良しに

P6 (見開き右側)

「2日目 その1 (2013/9/15)」

**プロ野球観戦** (所沢市西武ドーム 埼玉西武 VS 千葉ロッテ) ※午前中の交流試合は雨天中止に



画像ファイル名：2-01 プロ野球観戦 1  
▲グラウンドではいちへズ!



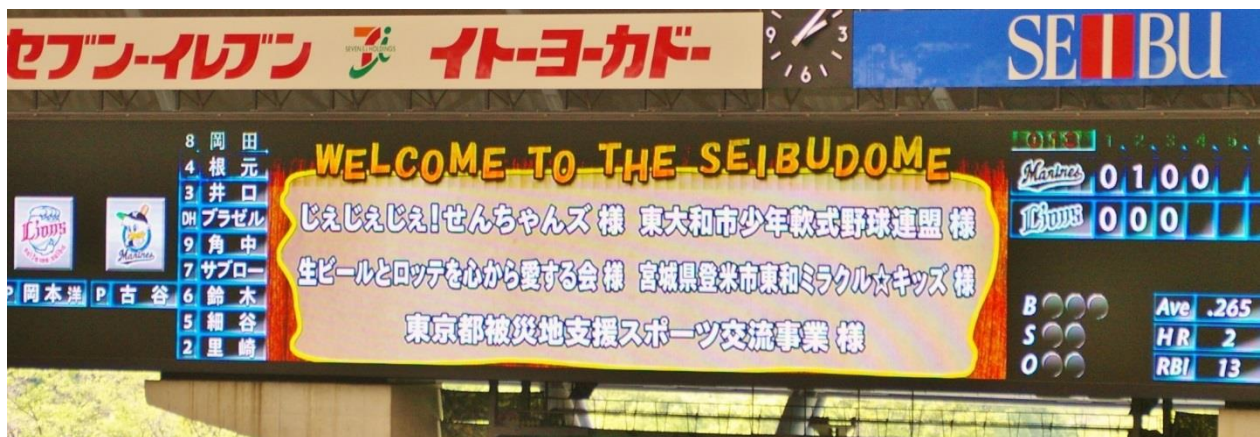
画像ファイル名：2-02 プロ野球観戦 2  
▲観客席ではいちへズ!



画像ファイル名：2-03 プロ野球観戦 3  
▲がんばれ～!



画像ファイル名：2-04 プロ野球観戦 4  
▲「四身」一体



画像ファイル名：2-05 プロ野球観戦 5  
▲バックスクリーンで紹介されました

P7 (見開き左側)

「2日目 その2 (2013/9/15)」

ホームステイ



画像ファイル名 : 2-07 ホストファミリーと 2

▲おれたちがしっかり支えるぜ!



画像ファイル名 : 2-06 ホストファミリーと 1

▲みんないっしょにあさごはん



画像ファイル名 : 2-08 ホストファミリーと 3

▲すっかりきょうだい同然に

登米市チームの引率者と受け入れ団体との交流会 (東大和市少年軟式野球連盟)



画像ファイル名 : 2-10 引率者と受入団体との交流

▲子どもたちはホームステイ先で、大人たちはここで交流。再会を祝してばんざ〜い!

P8 (見開き右側)

「3日目 (2013/9/16)」

**送別会** (東大和市 中小企業大学校東京校) ※台風18号接近のため当初予定の会場での送別会開催を中止



画像ファイル名：3-01 御礼品贈呈  
▲登米市より受け入れ各チームに記念品贈呈



画像ファイル名：3-02 さよなら  
▲必ずまた、お会いしましょう！



画像ファイル名：3-03 バスに乗り込む  
▲いよいよお別れするとき



画像ファイル名：3-04 バス出発  
▲また会おうね！



画像ファイル名：3-05 送別記念集合写真  
▲3日間のプログラムが終了。最後の記念撮影、はいち～ズ



● 歓迎会での「招待チーム選手代表挨拶」

東和ミラクル☆キッズ選手代表 塩口拓也君より

こんにちは。東和ミラクル☆キッズの塩口拓也です。  
ぼくは去年も東京にきました。その時の試合やホームステイで楽しい思い出がいっぱいできました。今年もたくさんの思い出をつくりたいです。  
ぼくが3年生の時に東日本だいしんさいがありました。  
ゆれが弱くなってからぼくたちは校庭にでました。  
その後、家の人むかえにきて家に帰りました。  
家に帰ってもゆれがとまらなかったで、車の中にいました。  
少しおちついてから、お母さんがお父さんにれんらくをしたけれど、つうじませんでした。  
やっとお父さんとれんらくがとれて、お父さんがつなみにながされてにげていることをしりました。  
それから、なんどもなんども電話をしたけれど、ぜんぜんつながらなくて心配で心配でたまりませんでした。  
夜になって、やっとつながって大じょうぶだとわかったときはうれしくてなみだがでました。  
夜中にお父さんが帰ってきた時は、とても安心しました。  
次の日から電気のない生活がはじまりました。電気や水が使えない生活はつらかったです。  
でも、お風呂は近くの人にかりました。  
じしんの次の日から家の中でねたけれど、よしんがこわくてねむれませんでした。  
でも、一週間で電気がついて、安心しました。  
ぼくは、電気や水がとても大切だということを、このじしんで感じました。まえまでは、あまり電気や水の大切さを考えていませんでした。  
それから、じしんがきてぼくが一番残念だったのは、好きな野球が出来なかったことです。  
このまま野球ができないかと思ったけれど、いま野球ができてすごくうれしいです。  
あしたの野球の交流試合やプロ野球のかんせんが楽しみです。これからぼくたちはホームステイでお世話になります。  
3日間どうぞよろしくおねがいします。

● 「東日本大震災を体験して」

東和ミラクル☆キッズ親の会代表 高橋孝宏さんより

（歓迎会にて朗読いただきました）

こんばんは。  
本日は私たちミラクル☆キッズを招待していただきまして、ありがとうございます。  
私たちの住んでいる宮城は震災から2年半がたちましたが、内陸部とは一変し、沿岸部は津波の被害により、閑散として寂しい町に変わってしまいました。自分の住んでいた石巻渡波地区も町の半分以上が全壊し、今もなお危険区域から逃れるため沿岸部をさげ、仮設住宅で暮ら

している人達や、他県に移住せざるを得ない方々がたえない状況です。

自分たちもその中の一家族です。

あの日、私は夜勤明けで家にいました。今まで経験したことのない強い揺れを感じ、一階で同居していた母と、すでに学校から帰ってきた下の2人の子供たちをつれて外へ避難しました。

その直後、大津波警報が発令され、長男もまだ帰ってきていなかったので、学校に避難していると信じ、自宅付近の人達にも声をかけ、急いで車に乗り込み学校へ向かいました。

避難する人たちで道が渋滞し、クラクションを鳴らしながら無我夢中で向かう途中、逃げ遅れてしまった人達や家も次々と黒い波がのみこんでいきました。

私たちは、間一髪、津波をのがれ、学校へ逃げ込みました。

妻は数キロ離れた沿岸部の美容室に勤めていましたが、運よく学校にたどり着き、長男と一緒に無事安否を確認できました。

自宅は全壊となってしまいましたが、家族全員、一人もかけることなく奇跡的に助かることができ、生きていることの大切さを身にしみて感じる事が出来ました。

その日の夜は、雪が降り、寒い教室のなかでみんな寄り添いながら、長くて不安な夜を過ごしました。

次の日の朝は、津波の水が引かない中、太ももまで水につかり、家に食糧を探しに行きました。その途中、泥だらけになって亡くなっている子どもを抱きかかえた父親や津波で亡くなった人たちが、あちらこちらにたくさんいました。

その時、言葉も出なく、目をそむけたくなるような光景でした。

3日後、食糧不足のためさまよっていると、私の自宅から数十キロ離れて暮らしている兄が私たちを探しているところに偶然会いました。

安心して、全身の力がぬけ、涙がこみ上げてきました。

その後、「実家に避難しよう！」と言われ、暗いトンネルを歩き、水を避けるため線路を渡り、何キロも歩いて車に戻り、実家に行きました。

その後、避難した登米市のわが母校に子どもたちを転校させ、心のきずあとは完全には消すことは出来ませんが、元気を取り戻すために何かスポーツをはじめさせようと思い、野球をはじめました。

このような中で野球を出来ることは、子供たち、私たちにとって、幸せなことで、感謝しなければならないと感じています。本当にありがとうございます。

短い時間かもしれませんが、宮城の少年野球の元気な姿、全力プレーをお見せできればと思います。

最後になりますが、東大和市の皆様！ このような貴重な会を設けていただき、大変にありがとうございました。

●歓迎会で東和ミラクル☆キッズ 熊谷代表より代読された登米市長からのメッセージ

このたびは、東京都と東京都体育協会が共催する被災地支援事業に東大和市長様はじめ野球連盟の関係各位のご厚意により、登米市東和町の野球チームをご招待いただき、登米市にとっても大変光栄なことと心から御礼申し上げます。

私たちに大きな試練と困難をもたらし、まさに未曾有の大災害となりました東日本大震災から2年半が経過しました。

震災当時は市内49施設に6,230人が避難したほか、隣の南三陸町から避難した830名の皆さんを登米市内11施設で受け入れ、市民一人ひとりが生命を守り、生活の再建を最優先に無我夢中で奔走していました。

現在は、一日も早い復興が支援いただいた皆様への恩返しと、震災の教訓を生かした「登米市震災復興計画」を策定し、本市のまちづくりの基本目標である「夢・大地 みんなが愛する水の里」をめざして市民と協働事業の推進に取り組んでおりますので、今後も元気な登米市の姿を見守っていただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年も東和町のチームをご招待をいただいております、交流会をはじめホームステイ、プロ野球の観戦など、市や連盟、野球チームの親の会の皆様の心温まるおもてなしに大変感激して帰ってきたと聞いております。

また、ユニフォームまで新調していただいたとのことで、今回はそのユニフォームを着用し胸を張って参加していることと思います。

選手諸君は将来、登米市を支える若い力となって活躍する力強い存在となります。大きな夢や希望を与えてくれるこの事業は子どもたちを大きく成長させてくれることでしょう。このようなチャンスを与えて下さった関係各位に改めて感謝を申し上げます。

私もスポーツの持つ「人々を結びつける力」を信じております。被災地を元気にする事業として交流事業の開催に多大なるご支援、ご協力を賜りました東大和市長様をはじめ、野球連盟の皆様、また、関係各位に深く感謝を申し上げ、御礼のあいさつとさせていただきます。

平成25年9月14日

東大和市長 尾崎 保夫 様

登米市長

布施 孝尚

**●東和ミラクル☆キッズの選手の皆さまからの感想文****楽しかった3日間 / 6年 塩口拓也**

ぼくは、東京に行った3日間でたくさんの思い出ができました。

1日目は、海斗君の家にとまりました。海斗君の家では、ドンジャラ人生ゲームをして夜遅くまで起きていました。

2日目は、野球の交流試合が台風のため中止になったので、海斗君の家でゲームをして遊びました。午後からは、プロ野球の試合をみました。試合は西武のさよなら勝ちでした。試合が終わった後、西武ドームのグラウンドに入ってベースランニングの体験をしました。西武ドームに入るのは、最初で最後かもしれないのでいい体験になりました。ベースランニングを体験した後、遥斗君のお父さんお母さんに温泉に連れて行ってもらいました。温泉は、遥斗君と海斗君の友達がいみんな温泉に入りました。温泉から上がってから、ごはんを食べました。その日は、遥斗君の家にとまりました。遥斗君の家には、海斗君がとまりに来てみんなで遊んで海斗君もとまりました。

ぼくは、この3日間で友達がたくさんできました。台風が来て交流試合ができなかったのは残念だったけれど、大きくなった甲子園で会おうといわれたので夢を実現させるために野球を続けたいです。3日間、ありがとうございました。

**東大和市に行って / 6年 高橋玲雄**

今年で2回目になる東大和市と登米市の夏休み少年野球交流は、とてもよい思い出になりました。残念ながら楽しみにしていた、東大和市の人たちとの交流試合は、台風のえきょううでできませんでしたが、ホームスティ先の前原さんご家族にポウリングや焼き肉の食べ放題に連れて行ってもらい、とても楽しかったです。

中でもこの3日間で一番楽しかったのは、西武対ロッテの試合観戦です。試合観戦で、ホームランや中村剛也選手のケガからの復活をみることができ、試合も西武がサヨナラ勝ちでよかったです。試合終了後に西武ドームのグラウンドの中に入ってベースランニングをすることができ、東京でしかできない体験ができてよかったです。

最後に、ぼくは本当に東大和市に来てよかったと思います。最終日、去年のホームスティでお世話になった則末爽太君が見送りに来てくれ、久しぶりに会うことが出来てよかったです。また、今年ホームスティさせてくれた前原さんご家族に感謝します。

**東大和市での思い出 / 6年 千葉広夢**

僕は、昨年につづき、二度も東大和市少年野球交流会に参加できて、とてもうれしく思っています。今年は6年生ということもあり小学校生活の良い思い出になりました。

東大和市の皆さんの歓迎を受けてホストファミリーの人達とおいしい料理を食べて、はじめはすごく緊張したけどホストファミリーの小林哲春君がたくさん話かけてくれてすぐにとけ込むことができました。ホストファミリーの小林さんは優しくしてくれて、銭湯やポウリングにつれて行ってくれました。銭湯では初めて電気風呂に入り指先を湯につけると腕全体がシビれて、電気風呂に入るのが怖くなりました。

ポウリングでは、3ゲームで最高100オーバーを出すことができました。僕はあまりポウリングに行かないけれど、皆が「すごい」と言ってくれたのでポウリングに自信がつかました。東大和市の野球交流大会は台風のため中止になり、哲春君たちと野球ができなかったけど、とても良い思い出ができました。

僕は来年中学生になるけれどホームスティという貴重な体験ができてよかったと思います。この経験を生かして中学校へ行ってもがんばります。東大和市の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

**東京に行ったこと / 5年 熊谷美遥**

9月14日土曜日に、初めて東京に行ってきました。行くとき、胸がわくわくしていました。どんな人にあうだろう、どんなお家にとまるだろうと、すごく楽しみにしていました。それから、8時間の長い道のりをはしり、やっと東京の中小企業大大学の交流会室についたときは、いろいろな人がいました。

私はどんな人のお家にとまるだろうとおもったらブラックキャッツの寺島那菜ちゃんの家にとまりました。家につくとすごく大きな家で、中には大きな犬もいました。私はびっくりしました。そして、さっそく那菜ちゃんと友達になり、なかよしになりました。那菜ちゃんの部屋に行くときいろいろなものがありました。夜になってねるときに那菜ちゃんが電気をけしたら、てんじょうにすごくきれいな星がいっぱいひかっています。すごくきれいでした。私は、そういう家にとまるのは初めてなので、2日目、3日目がたのしくなりそうだなと思いました。

犬は黒くて、かわいかったです。夜、暑くて寝られなかったので、ずっとトランプをやっていました。

2日目は、台風のために交流試合はできなくなりました。すごくざんねんだけれど、その日はバッティングセンターやポウリング場などいろいろと行ったあと、西武ドームまで行ってきました。すごく楽しかったです。夜のご飯はしゃぶしゃぶやおすしなどごうかなものをいっぱい食べました。すごくおいしかったです。

3日目となり帰る日がやってきました。私はすごくさびしくなりました。ちょっと涙目になったけれど、がまんしてバスから手をふってお別れをしました。すごく楽しい3日間でした。

**楽しかった3日間 / 5年 高橋弘季**

ぼくは、東京に行くのがワクワクでした。1日目は、会ったとき、東京の家族はやさしい人でした。その後、バッティングセンターに行きました。打ったりできました。

2日目は、ボウリングをしました。東京の友達とうまくころがせて、うれしかったです。ホームスティのお父さんはうまくてすごかったです。その夜は、へん顔大会して、しゅんくんが強くて、わらってしまいました。

3日目は、さびしくなりました。もっとホームスティの人と遊びたかったです。帰るとき、みんなで遊んだことを思い出しながら涙が出ました。また、会えることを信じています。楽しい3日間でした。ありがとうございました。

**東大和市少年野球交流大会にさんかして / 5年 千葉歩夢**

ぼくは、初めてのホームスティで、しかも会ったことのない友達とすぐにうちとけられるか、すこし不安な気持ちでした。

1日目は、小沼光陽君の家にお世話になりました。吉岡寛太君がとまりにきていて、いっしょに銭湯にいったり、まくら投げをしました。

2日目は、吉岡寛太君の家にお世話になりました。この日は、交流試合が予定されていました。台風のため中止になって残念だったけど、寛太君のお父さんにゲームセンターにつれていってもらいました。ゲームセンターでは、バッティングセンターやゴルフやバスケやサッカーやつりなどをやり、終わったあとにUFOキャッチャーで自分がほしかった物がとれなかったら、それを光陽君のお父さんがぼくにそれをくれました。ゲームをしたあと、西武ドームにプロ野球観戦に行きました。野球を見てすごいと思ったのは、ヘッドスライディングキャッチがすごいと思いました。さいごに光陽君のお父さんに楽天のユニフォームをもらいました。うれしかったです。帰ってきて、また銭湯につれていってもらいました。みんなで入ってたのしかったです。

3日目は、朝はやくおきて、みんなとゲームをしました。それから、台風のため送別会が中止になって、すぐ帰ることになりました。楽しかった3日間があつという間に終わってしまい、すこしさみしくかんじました。3日間良い体験と良い思い出をつくることができました。

**3日間の思い出 / 5年 松浦大士**

ぼくの1日目は、景春君ちでした。家に入ってからいっぱいお話をしました。

Wi i をさせてもらいました。とてもおもしろかったです。すごくねむれました。

2日目の交流試合を楽しみにしていました。でも、台風で中止になっちゃったので、景春君家のお父さんにバッティングセンターに行こうと言ってくれ、ぼくとりょうは喜びました。そして、バッティングセンターにつきました。ホームランは打てなかったけど楽しかったです。終わった後、景春君家に帰ってから、西武ドームにいくためにこうき君家がむかえにくるから、下で待っていてといわれたので、ぼくとりょうはいそいで下にいきました。西武ドームの中は広かったです。試合がはじまってからうるさくなりました。

3日間おもしろかったです。

**東京で初めてホームスティしたこと / 4年 齋藤 亮**

ぼくは、初めて東京に行ってホームスティをしました。ホームスティで1日目は、けい春君家にとまりました。けい春君家でテレビゲームをして遊びました。

次の日の朝はバッティングセンターに行ってバッティングをしました。そして、けい春君と同じチームのこうき君といっしょにせいぶドームに行って試合を見ました。せいぶがえん長戦で勝ちました。次に、こうき君家に行ってホームスティをしました。こうき君家では、まくら投げをしました。ちょっとかしななかったけれど、まくら投げをあまりしたことがなかったので、楽しかったです。次の日におみやげを買って登米の米谷に帰りました。初めて東京に行ってホームスティをしたので、きんちょうしました。でも、後からなれてきたので楽しくなりました。いろいろ教えていただき、ありがとうございました。

**ホームスティの思い出 / 4年 松浦奎大**

ぼくのホームスティの思い出は、いっぱいあります。

1つ目は、バッティングセンターに行きました。バッティングセンターでコインを買い、ドアの中にはいりました。それで、コインを入れ、バッティングの始まりです。最初の方は、あまり打てませんでした。くやくして、何回もやりました。これで夜になりました。

朝になりました。次は、西武ドームに行く日です。ぼくは、チケットをわたされ、カウンターに行き、下の方を切り取りました。次に、指定された席にすわりました。そこから、もう自由です。ぼくは、みんなといっしょに走っていきました。まず最初にアイスを食べました。それから、練習もみました。ぼくは、楽しくて、選手に大きな声で「ボールください。」と、いってみましたが、ことわられました。みんなは、ぼくのことを見て、笑い始めました。

この3日間、楽しかったので、また行けたら、行きたいです。

**スポーツ交流にさんかして / 3年 佐藤海斗**

ぼくは、今回初めて東大和市のスポーツ交流会へさんかしました。東京に行くのもはじめてだったので、とてもわくわくしました。ホームスティでは1日目に岩瀬海斗くんの家にとまりました。ぼくと同じ名前だったので、とてもびっくりしました。海斗くんの家ではピースをならべてアイロンをかけるアイロンピースをやりました。キーホルダーのようになりました。何こも作り楽しかったです。

次の日は台風のため交流試合ができなくてざんねんでしたが、西武ドームへ行ってプロ野球かんせんができてうれしかったです。ホームランがでて、ぼくもうちたいと思いました。その日は高野はる斗くんの家にとまりました。みんなでビリビリゲームをして遊び、とても楽しかったです。

おわかれの日も雨でしたが、みんなとわかれるのがさびしかったです。また来年も会いたいです。いろいろお世話になり、ありがとうございました。

僕たちの所にもぜひ遊びにきてください。まっています。

**東大和市に行った思い出 / 3年 千葉 柊**

9月14日から3日間東大和市に行きました。

ぼくは光陽くんと寛太くんのいえにいきました。はじめてのホームスティで、とてもきんちょうしました。

光陽くんの家では、野球をして楽しかったです。

2日目に寛太くんの家では、かくれんぼをして暑かったです。

台風で交流しあいができなくて、とてもざんねんでしたが、プロ野球のしあいをはじめて見てとてもうれしかったです。

来年は交流しあいができるといいなとおもいました。

東大和市のみなさん、いろいろありがとうございました。

**東大和市の思い出 / 3年 畠山啓汰**

ぼくは、今回、はじめて東京に行きました。長い時間、みんなでバスに乗り、ドラゴンボール、トイストーリーを見ながら行きました。

夕方、東大和市のかいじょうについて、多くの人たちに迎えてもらって、びっくりしました。夜はホームスティで小林さんのおうちにとめてもらいました。みんなでマリオのゲームをしました。

2日めは、ざんねんながら雨でこうりゅうじあいができませんでした。小林さんにボウリングと銭湯につれていってもらい、とても楽しかったです。午後からは、西武ドームに行き、プロ野球を見ました。プロ野球の選手は、カッコよく、上手でした。その夜はみんなで焼き肉を食べました。おいしかったです。3日めは、台風だったのでよていより早く帰ることになりました。あつというまの、3日間でしたが、ぜんぶはじめてのたいけんでした。

いろいろありがとうございました。小林家のおうちのみなさん、大変お世話になりました。東大和市のみなさん、ありがとうございました。

**たのしかった思いで / 2年 たかはしみさき**

ぼくは、東京に行くとき、ホームスティのかそくの人たちはどんな人たちかなあと思いながら、行きました。


あつてみたら、みんなにここにこむかえてくれました。やさしい人であんしんしました。


雨がふって、しあいができなくなりましたが、みんなであそべたのでたのしかったです。

またあえるのを、たのしみにまっています。

野球も、もっとうまくなります。

ありがとうございました。

**夏休み少年野球交流 送別会** 

**登米市  東大和市**

**支え合う絆、心をつなぐ少年野球**

**必ずまた、お会いしましょう!**